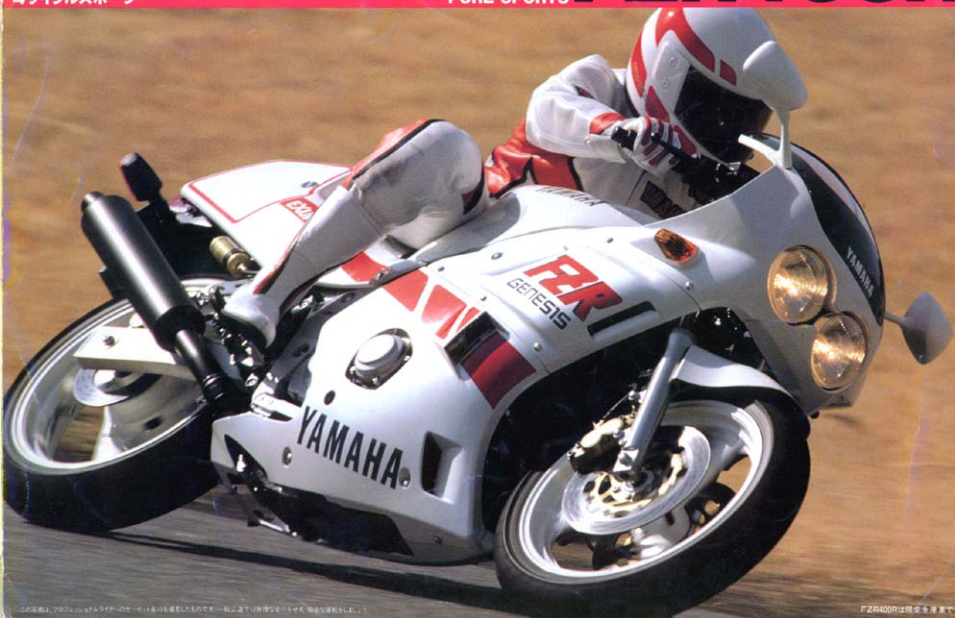


YAMAHA

4サイクルスポーツ

PURE SPORTS

FZR400R



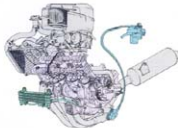
もうひとつのRの意志。

FZR400の素材としての優秀性を、
ヤマハ自身の手で証明する時が来た。



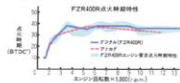
FZR400R。このマシンは選ばれた数少ないライダーだけにしかお届けすることができない。しかし、このマシンに授けられたもうひとつの「R」の意志は、このマシンの存在を通してFZR400というマシンの真髄らしさを全てライダーに再認識していただきたいが故のものなのだ。FZR400のハイアペレージなポテンシャルに、更に備した数々のイクイップメントと、もうひとつの「R」が附加される。このマシンは、ライダー自身の内に燃えるスバルタンな意志と全く敬意に反応する。FZR400R。その行方に広がる世界は、通かなレーサーの領域からも抑れない。まりに備する。ただそのために生まれたもうひとつの「R」、いま走り出そうとしている。

ひとつひとつのパーツが、走りにおいて磨き上げられた。「ジェネシス」コンセプト DOHCインライン4パワーユニット。



最高出力50ps/12,000rpm、最大トルク3.3kgm/9,500rpm、筒径45・DOHC4バルブインライン4、「ジェネシス」コンセプトが個性あふたさあつめて高効率な吸排気システム、秀でたコントロールリテリに大きく貢献するはば50:50の前後重量配分や低重心化は、既に定評のあるところ。そのプロフィールはFZR400と何ら変わりはない。しかしひとつ、このマシンを突出させてみるならば、そのポテンシャルの平ばけけた高さを実感することができる。いかにすれば、36にタイムアップでフレキシブルなパフォーマンスを発揮できるのか。いかに高く回転域までエンジン回転させ、しかも安定してハイパワー

を得るか、軽量を抑るピストンやピストンピンの全長を短縮し、クロームモリブデン鋼製のコンロッドも軽量化するなど、様々なパーツのプロファイルを変更し、極限と思われた運動系のパフォーマンス低減をさらに進める努力がなされている。大容量エアフィルターからダウンドラフトタイプキャブレターへも通し、定評あるストローク短縮吸排気システム、デジタルイグナイター点火システムのセッティング、キャブレターのセッティングなど、全ては、もうひとつのRに込められた「パワーユニットを実現するためのもの、走り」に徹するという視点に凝り込んで開発がなされているのだ。



ヤマハ独創の4ストロークマシン排気デバイス、
速に登場、EXUP (エキゾースト・アルティメイト・
パワーバルブ)
4intelマフラー、エキゾーストパイプの取り直し、形
状、内径、全長など、これがエンジンの出力特性
にきめて重大な影響を及ぼしていることは周知
の事実。高回転域にウェイトを置かず、低中速域で

EXUP (エキゾースト・アルティメイト・パワーバルブ)

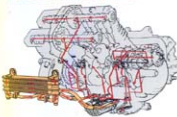
EXUP。全機にわたってエンジン回転数に応じた最適なエキゾーストシステムを実現する。それがこの究極の排気デバイスである。

マフラーコンピューターに接するECUコネクタが、イグナイターコネクタからのエンジン回転数信号も、排気バルブを駆動するセンサーと一体化し、このエンジン回転数信号に対して、EXUPのエキゾーストパイプ連動制御部がバルブを自動的、エキゾーストパイプの連動特性を感知させ、エキゾーストパイプの形状を変更したのと全く同じ効果を生じ、低中速域では、充分に力強いトルクを発生させ、高回転域では潤滑のよい高回転バルブを使用する。エンジン回転数に応じてマフラーを使い分けると同時に効果を生じ、また、革新的な排気デバイスである。





心を解き放つ走りをご想定している。
オイルクーリングシステム。
オイルジェットタイプピストンクーラー。



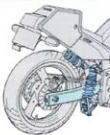
エンジンの潤滑をさらに円滑に安定したものとす

ること、それは、例えばレース等の苛酷な走行条件下でも、このFZR400Rがハイパフォーマンスを持続的に発揮できること、ひとつの大きな裏付けとなる。エンジンの潤滑にあたるオイルを、外気によって効率よく冷却するために設けられたオイルクーリングシステム、オイルパンから吸入されたオイルは、オイルポンプによってオイルクーラーへ目送られ冷却プロセスを経て、オイルエレメントへと戻る。オイルの冷却効果と耐久性の向上がもたらす恩恵は驚嘆するものがある。加えて新採用となったのが、オイルジェットタイプピストンクーラー。ピス

トン表面に対して、オイルポンプによって常にフレッシュなオイルが一定圧でジェット噴射され続け、ピストン温度を下げ苛酷な条件下でも安定したパフォーマンスを発揮させ、耐久性を大きく向上させているのである。すなわちその意味するものはFZR400Rというマシンが見据えている走りの次元の高さを証明しているのだ。
高次元なライディングを養うために、伝達系のファインチューニング、クロスレスオートトランスミッション。
あまた次元を越えてマシンに走り求めるのなら、トランスミッションもおのずと異なるものとなるだろう。6速

までの各ギヤが逆接した減速比を持つクロスミッション構成が、ひとひき毎きを放つ走りというイメージを誘う。それはライダーの内に燃えるベロシティの意志と、ダイレクトに響きあうライディングフィールを味あわせてくれる。さらにハイレベルに維持される走りに対応しながら、軽快な操作感を発揮すべく、フランクシートを9枚としたクラッチの採用など、伝達系には走り強化的FZR400Rの意志が表わされて、**確信に満ちたライディングを生む、アルミデルタボックスフレームを核としたシャーシシステム。**
超高剛性・軽量のアルミデルタボックスフレームが実現するシャープでなおかつ安定性に満ちたコントロールパリティは、定評あるところ、加えてFZR400Rで

ットを採用。ダンピングアジャスターによって的確な調整を可能としている。
ライダーの意志とダイレクトに疎通する、ハイボテンシャルブレーキシステム。
走りがきわめて高次元の領域へと入り込んでいくのなら、当然ブレーキシステムにも同様なポテンシャルが要求される。フロントに配した対向ピストンボットキャリパーを装着したフローティングダブルディスクブレーキ。安定した確かなストップパフォーマンス、ライダーの意志によった忠実なブレーキングフィールを実現している。このタッチはまさにワークスレーサーYZF6の血を受け継ぐもの証といえよう。
このレーシングフォルムは意をこめたる最大の意志表示だ。レーサータイプシングルシートを初めとする数々のイクワイプメント。



は、リヤフレームもアルミとしてさらなる軽量化に努めている。このフレームを、よりしなやかな応答性、路面追従性として充分な剛性を発揮するサスペンションシステムが交差している。フロントには、インシヤルアジャスターを装着したフォークを採用。スイングアームの断面積を拡大しさらなる剛性確保を実現した、リヤのリンク式モノコクサスペンションには、リザーバータンクを装着した高圧窒素ガス注入式カールボンタタイプのクッションユニ

は、リヤフレームもアルミとしてさらなる軽量化に努めている。このフレームを、よりしなやかな応答性、路面追従性として充分な剛性を発揮するサスペンションシステムが交差している。フロントには、インシヤルアジャスターを装着したフォークを採用。スイングアームの断面積を拡大しさらなる剛性確保を実現した、リヤのリンク式モノコクサスペンションには、リザーバータンクを装着した高圧窒素ガス注入式カールボンタタイプのクッションユニ

は、リヤフレームもアルミとしてさらなる軽量化に努めている。このフレームを、よりしなやかな応答性、路面追従性として充分な剛性を発揮するサスペンションシステムが交差している。フロントには、インシヤルアジャスターを装着したフォークを採用。スイングアームの断面積を拡大しさらなる剛性確保を実現した、リヤのリンク式モノコクサスペンションには、リザーバータンクを装着した高圧窒素ガス注入式カールボンタタイプのクッションユニ



この4面の写真は、プロフェッショナルライダーのサーキット走行を撮影したもので、一概に公道では無理な走行をせず、安全な運転をお願いします。

FZR400R

- FZR400Rは限定生産車です。
- 標準全価格 ¥890,000
(北海道、沖縄および一部離島を除く)
- シルキーホワイト

単位(mm)



手紙が来た!

足元が冷たい!

ヤマハのCRコルシント

寒いバイクの乗りごきです。残念ながら、暖房や手袋でおおきなバイクが、あなたのバイクに、おきたいには、3000円も高く買ってもらえない(しかもおきたいは、3000円も)。あなたはおかえりなし、お返しがないので、この寒い冬の季節、あなたもバイクに乗って暖かい乗りごきです。Y.E.S.S.のCRコルシントは、北海道のヤマハ販売店までお問い合わせください。



INFORMATION SHOP

カローラードームでの「マン・マン」コミュニケーションの機会が、一般乗用車での安全で快適な走行を念頭にしています。お問合せ、お申込みは、このマークの「マン・マン」まで。

ヤマハライダーのダスター(JRS)サーキットに参加しませんか。



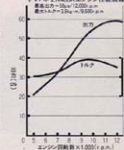
●Y.E.S.S.(イエス)とは、YAMAHA EARTHLY SPORTS STAFFの略。サーキットで楽しむ仲間として(お話し)たい大きな遊びの世界をもっと積極的に楽しみたいと思われた方です。●特典もいろいろ。入会のお申込み、お問合せは、Y.E.S.S.のスタッフへあつてY.E.S.S.加盟店へ行ってください。

バイクライフを大きく広げY.E.S.S.に、参加しませんか。

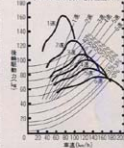
FZR400R仕様表

型式	T40
全長/全幅/全高	2,040×600×1,125mm
軸距	1,420mm
シート高/最低地上高	790mm/135mm
乾重量	197kg
燃費(定速走行)※	53km/l(20%/%)
最大回転速度	3.5rev
制動停止距離	14.0m(50km/h)
エンジン種類	J49(水冷・単気筒・4バルブ)
排気管径/排気管径	50mm(50mm)
内径×行程	50.0mm×42.5mm
圧縮比	11.5:1
最高出力	50kw(72.000rpm)
最大トルク	3.0kg-m(7.500rpm)
駆動方式	セルシ
変速機	トランスミッション
燃料タンク容量	18L
エンジンオイル容量	3.1L
潤滑方式	強制循環プレミキシング
バッテリー型式/容量	12V(20Ah)(20Ah)PM242
1次減速機/減速比	4.44(1.7108/0.1)
2次減速機/減速比	サンプラジ(2.7338/1.93)
クラッチ形式	湿式多板
変速機形式	リッチャー式5速
変速機形式	リッチャー式5速
変速機形式	1,600rpm/368/1,250
フレーム形式	アルミ合金ダブルクラッシュ
キャストロール	24(2)mm
タイヤサイズ(前/後)	110/70FR17 160/90R16
1次減速機/減速比	1.62(2.027/1.247)
制動装置	前 油圧ディスクブレーキ 後 油圧ディスクブレーキ

ヤマハFZR400Rエンジン性能曲線



ヤマハFZR400R走行性能曲線



- 燃費は定めた試験条件のもとで得た値です。燃費は走行の状況・道路・乗り方・乗客の有無等の条件により異なります。
- 本誌の値は必ずしも正確な値ではありません。必ずしも異なることになり、写真や内部の仕様と異なる場合があります。
- バイクカラーは印刷の色と異なる場合があります。

HAVE A NICE RIDE! ナイスライディングをよろしく、

- ヘルメットを正しくお取り扱い下さい。
- 点検・整備を忘れずに。
- 安全のため、改造はやめましょう。
- 騒音防止のため不必要なからしめはつづしめましょう。

安全運転をお願いします。無免許で走ってはなりません。カーブでは必ずFZR400Rの安全運転マニュアルを必ずお読みください。安全運転を心がけてください。本誌の値は必ずしも正確な値ではありません。必ずしも異なることになり、写真や内部の仕様と異なる場合があります。



ヤマハ発動機株式会社
〒427 静岡県掛川市1-5-1